

第 13 回会員報告会・講演会・意見交換会

《第 13 回会員報告会》

- ・開催日：2023年12月4日（月）
- ・開催場所：鉄鋼会館 8F
- ・会務報告
 - 1) 事務局報告
 - 2) 各委員会報告
運営委員会、技術委員会、業務委員会



【中河代表理事による開会ご挨拶】



【会員報告会の全景】

《講演会》

- ・テーマ：「水道事業における官民連携の経過とウォーターPPP」
- ・講師：EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 福田 健一郎 様



【司会進行は2023ミス日本「水の天使」】



【講師の福田健一郎様】



【伊藤副代表理事から講師のご紹介】



【旬なテーマのご講演に約 60 名が傾聴した】

《意見交換会》

2018 年以來ぶりの意見交換会を開催。

水管協会長の飯嶋 宣雄による開会挨拶、厚生労働省 健康・生活衛生局 名倉良雄水道課長によるご来賓挨拶、公益財団法人水道技術研究センター 安藤茂理事長による乾杯のご発声で和やかにスタート。

ご来賓、水管協会員合わせて 60 名が参加し、活発に意見交換を行った。



【開会挨拶をする飯嶋会長】



【意見交換会会場の全景】



【厚労省水道課長名倉様によるご来賓挨拶】



【JWRC 安藤茂理事長の乾杯】



【「水の天使」の竹田聖彩様】

※写真の出典は日本水道新聞社、水道産業新聞社、ミス日本協会にご協力いただきました。

出典：水道産業新聞社
2023年12月11日
第5713号
3面掲載

上期活動を会員に報告

ウォーターPPPへの対応を

水協 厚労省・日水協にも要望

日本水道連合会(水協)は4日、厚労省(労働省)で第13回官民連携推進会議(以下「官民連携会議」)を開催し、上期の活動報告を行った。また「水道PPP」に関する官民連携の経緯や「ウォーターPPP」をテーマに講演会も行った。



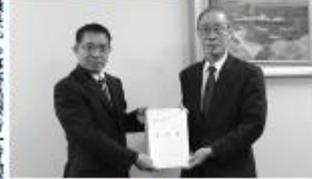
飯嶋会長 中河代表理事
柳澤(クボタ)代表取締役社長
ニアリング代表取締役社長
福田氏

厚労省が今年6月にPPP/P/PPP推進アクションプランが決定された。コンセッション方式に適合するための官民連携の新たな方式として「管理・更新一体マネジメン卜方式」が加わり、コンセッション方式と併せて「ウォーターPPP」として、今後10年間で水道100件、工業用水道200件、下水道100件の合計300件の目標が掲げられている。このため官民



厚労省への要望活動

会では、要望活動で(事務局員から事務局報告の中心として)ウォーターPPPを挙げてきた。本日はウォーターPPPをテーマとして講演会もいたした。柳澤を筆頭に福田氏、今後は之、技師養成、岩瀬全明・兼



日水協にも

事務局員から事務局報告
おのる委員会の活動報告
がなされた。
上期は、要望活動や
日本水道協会4地方支部
(九州、東北、中部、
中国四国)への災害支援

労働省も日本水道協会に
対して、水道事業の
人財の養成や優秀な
人材の確保を希望する
点について、ウォーター
PPPへの対応も水道
事業の発展を期す。

ウォーターPPPへの
対応については、厚労省
では「委託者業務が広
範囲かつ高度化するた
め、業務内容に相
した適正な費用を許す
ることも必要」とした
点に「委託者への
モニタリングがこれまで
以上に重要となる。モニ
タリング業務のためのガ
イドラインを策定するこ
とも、モニタリング実
施者を確保していく必要
たい」と要望。日本
水協は「委託者の
業務が広範囲かつ高度化
するため、業務内容を明

確するとともに業務内
容に応じた適正な費用を
計上(新たに必要とされ
る作業については必要
経費を許す)するよう、
厚労省に対して要望
した。また「必要と
された」と要望している。
各活動報告には、E
Yストゥテシー・アン
ド・コンサルティングの
福田健一氏が「下水道
事業における官民連携の
経緯とウォーターPPP」
をテーマに講演。上水
道PPPの事例としてベル
3・5の位置づけについて
は「官民連携の仕組み
は過去20年で着実に進

化・普及している。管
理・更新一体マネジメン
ト(レベル3・5)は、
包括委託を強化させるも
ので、事業・施設の維持
管理から更新のサイクル
を一気通貫で委ね、長期
委託で雇用安定や職工
夫を促す」と説明。レベ
ル3・5の論点と類似事
例については「上水道
分野で既にレベル3・5
に類似した要素を合契
約が複数存在する。プロ
フィットシニアについて
は、類似事例を参考にし
ながら民の工夫を引き出
すべく仕組みの議論を深
めていく必要がある」と

と類似事例を紹介した。
講演会後には今年より
に意見交換会も開催さ
れ、飯嶋会長が「委託状
況については、概ね順
いで、5年契約や5年超
契約の件数は増加してい
る。今回はウォーター
PPPをテーマに講演をい
たしたが、そのなかで、
中心となるのが官民連携
の会員企業とのお話もい
たい」と取り組みをい
たい」と話した。会場
では、講演テーマな
ったウォーターPPPにつ
いて会場間で意見交換す
る姿が多く見られた。